

# 行田市ごみ処理基本構想

令和3年3月

行 田 市

## 目 次

第1章 基本構想の目的と位置付け	1
1-1 基本構想の目的	1
1-2 基本構想の位置付け	2
第2章 ごみ処理の現状と今後の方針	3
2-1 ごみ処理の現状	3
(1) 分別	3
(2) 家庭ごみの処理フロー	4
(3) 中間処理・最終処分施設の概要	5
(4) ごみの排出量、処理量の実績	7
(5) 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画における施策の進捗状況と基本構想の関係	8
2-2 ごみ処理の方向性	9
(1) ごみの減量目標	9
(2) プラスチック類の資源化	9
(3) 剪定枝の資源化	10
(4) 新たな家庭ごみの処理フロー案	10
(5) 民間委託処理の可能性	12
2-3 施設整備基本方針	14
(1) 廃棄物処理施設整備に係る国の動向	14
(2) 市の上位計画における廃棄物処理施設整備に係る方針	15
(3) 施設整備基本方針	16
2-4 整備が必要なごみ処理施設	17
2-5 処理対象ごみ量と施設整備規模	18
(1) 処理対象ごみ	18
(2) ごみ排出量	18
(3) 処理対象ごみ量	19
(4) 施設整備規模	20
第3章 施設整備構想	23
3-1 基本的事項	23
(1) 環境保全対策	23
(2) 処理方式	33
(3) 余熱利用計画（エネルギー回収計画）	45
(4) 焼却残渣の資源化	48

3-2	配置及び事業計画	49
(1)	施設計画用地における配置計画	49
(2)	事業方式	54
(3)	概算事業費	56
(4)	事業工程	63
(5)	生活環境影響調査	66
<b>第4章</b>	<b>広域化の検討</b>	<b>68</b>
4-1	現状のごみ分別区分	68
4-2	広域処理のメリット・デメリット	69
4-3	広域化の検討項目	70
4-4	検討対象施設及び規模	70
(1)	検討するごみ処理施設	70
(2)	検討対象ごみ	71
(3)	検討対象ごみ量	71
(4)	施設整備規模	71
4-5	概算事業費の算定	73
(1)	施設整備費	73
(2)	運営費（人件費、補修費、用役費を含む維持管理費）	74
(3)	概算事業費の算定	75
4-6	経済性（スケールメリット）	76
添付資料	ごみ排出量の推計結果	77